

# 岡山市行財政改革推進プランに基づく 事務事業チェックの実施

岡山市行財政改革推進プラン(平成29年3月策定)に基づき、事務執行の最適化と市民サービスの向上を図っていくため、既存事業の見直しや事務の改善を検討する「事務事業チェック」を実施しました。

## 令和元年度「事務事業チェック」の結果 【効果額】約15億8千万円

### <主な取組>

#### ●歳入の確保 (22百万円)

○公園トイレのネーミングライツ導入 等

#### ●歳出の見直し (99百万円)

○既存の事務事業の見直し(事業スクラップやコスト縮減等)  
○電気購入に係る入札の実施

#### ●最適な資産管理 (13億80百万円)

○未利用地の売却

#### ●ICTやBPR手法等を活用した 業務の効率化と市民サービスの向上 (7百万円)

○AI音声認識技術を活用した「自動文字起こしシステム」の導入  
○環境部門と下水道部門合同による規制対象事業場の立入調査実施 等

#### ●官民の役割分担の見直し (78百万円)

○オキシダント情報発信業務における民間コールセンターの活用  
○移動図書館の運転業務における民間委託 等